



秋田での3年間と これからも続く秋田への想い

【秋田市観光クチコミ大使】
東京海上日動火災保険株式会社
内部監査部 担当部長

お ぬま ひろ し
小 沼 広 史 氏

昨年3月31日、弊社秋田支店での引継ぎを終え、3年間お世話になった大好きな秋田を離れ、間もなく1年になります。神戸支店、広島支店勤務以来の単身赴任でしたが、秋田では公私共にとても充実した時間を過ごさせて頂きました。

着任当初、まず「乾杯条例（秋田の酒による乾杯を推進する条例）」にほっこりしました。参加する様々な会合では、予め乾杯用のお酒が注がれたグラスもしくはお猪口が当然の如く置いてあります。「乾杯条例」の徹底ぶりはちょっと茶目っ気もあって楽しく、いつの間にか皆が条例の目的の1つである「秋田の酒を愛飲する機運の醸成」を率先垂範している…、条例の効果は抜群です。

また、1年目の夏は、竿燈まつり、大曲の花火、湯沢の七夕絵どうろう等、“東北の夏”の魅力に感じ入りました。特に竿燈まつりは、“夜空に揺らめく黄金の稲穂”の熱気、迫力ある妙技が素晴らしく、翌年は東京から家族を招く予定でしたが、コロナ禍で実現せぬままに転勤となってしまいましたので、なんとしても改めて機会を作りたいと考えています。

コロナ禍にあった2年目、3年目は、県外との往来を控える日々となりましたが、それゆえに腰を据えて、ますます秋田での生活に魅せられていったように思います。とりわけ、お声掛け頂き入門したお茶のお稽古は、かけがえのないご縁になりました。秋田では、お稽古を通じて、経営者の方々や転勤されてきた他業界の方々と楽しくお茶を学ばせて頂きました。現在もご縁は続いており、在京の弟子仲間が集えば、そこはもう“秋田の空間、です。秋田に思いを馳せつつ語り合う、一体感溢れる楽しいひと時が続いています。

2年目の冬には、県が主催するワーケーションモニターツアーに参加、これは首都圏との関係人口

構築を目指したもので、コロナ禍により県内在住の県外出身者を対象に開催されたものです。少しでもお役に立てればと参加しましたが、現在、東京ではリモートワークの機会が多く、モニターツアーの経験を活かして今後はワーケーションにも挑戦したいと思っています。

また、3年目の秋に取得した「秋田ふるさと検定2級」は、貴重な財産です。試験勉強は大変でしたが、秋田で知り合えた仲間と共に丸1日の講習会を真剣に受講し、「歴史」「観光」「祭り・行事」「自然」「生活文化」「産業」と幅広い分野を学び、秋田の魅力を改めて知ることができました。手もとの2級認定証を見るたびに、習得した知識をフルに活かして、秋田の魅力を発信していかなければと、意を新たにす次第です。

現在の仕事（内部監査）は、全国の支店に出張する機会がありますが、ついつい、行く先々を秋田と比較してしまいます。豊かな自然と文化、郷土料理、お酒、そして人情…、監査項目ではありませんが、秋田を基準に実査すると、どうしても辛口の評価になってしまいます。

最後になりますが、秋田を愛する仲間達と共に、これからも秋田を応援して参ります。秋田の皆様のご健勝と各企業のご発展を心よりお祈り申し上げます。

■略歴

1967年 福島県郡山市生まれ
1990年 東京海上火災保険株式会社（現・東京海上日動火災保険（株））入社
2019年 東京海上日動火災保険株式会社 秋田支店長
現 在 東京海上日動火災保険株式会社 内部監査部 担当部長
事業内容 損害保険業